

2024年 Honda モータースポーツ活動計画

Honda の 2024 年モータースポーツ活動計画についてお知らせします。

【二輪モータースポーツ活動】

2023 年の FIM^{※1} ロードレース世界選手権 MotoGP クラスでは、第 3 戦アメリカズ GP で優勝したものの、シーズン全体としては大変悔しい結果となりました。2024 年はルカ・マリーニ選手が Repsol Honda Team (レプソル・ホンダ・チーム) に、ヨハン・ザルコ選手が CASTROL Honda LCR (カストロール・ホンダ・エルシーアール) に加入します。マシンの戦闘力向上と合わせて、MotoGP のタイトル奪還を目指します。

FIM トライアル世界選手権シリーズの TrialGP クラスではトニー・ボウ選手が、チャンピオンを獲得し、合わせて、X トライアル世界選手権の両シリーズで各 17 連覇 (合計 34 連覇) を達成しました。2024 年も自身の前人未達の記録更新に挑戦します。

Honda は、2040 年代に全ての二輪製品でのカーボンニュートラルを実現することを目指し、ICE (内燃機関) の進化にも継続的に取り組みながら、今後の環境戦略の主軸として二輪車の電動化に取り組んでいます。モータースポーツでも、カーボンニュートラル燃料の導入が始まっており、2023 年に導入された MFJ^{※2} 全日本ロードレース選手権 (JRR) JSB1000 クラスに続き、2024 年も MotoGP や FIM スーパーバイク世界選手権 (WSBK) での導入に対応していきます。昨年は CR ELECTRIC PROTO で全日本モトクロス選手権 (JMX) にスポット参戦しましたが、引き続き新たな電動二輪車カテゴリーの参戦も検討中です。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme (国際モーターサイクリズム連盟) の略称

※2 MFJ とは、Motorcycle Federation of Japan (一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会) の略称

【四輪モータースポーツ活動】

2023年、FIA^{※3}フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）において、HondaはOracle Red Bull Racing（オラクル・レッドブル・レーシング）およびScuderia AlphaTauri（スクーデリア・アルファタウリ）に対し、チームパートナーとして技術支援やマーケティング協力を実施。技術支援として、株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）がパワーユニット（以下、PU）のESS^{※4}以外のコンポーネントを製造し、Red Bull Powertrains（レッドブル・パワートレインズ）^{※5}への供給とシーズンを通じたPU運用のサポートを行いました。そのパートナーシップのもと、Oracle Red Bull Racingは22戦中21勝という圧倒的な強さで、コンストラクターズ・ドライバーズの両タイトルを獲得。HondaのF1活動にとって60周年^{※6}となる2024年もHondaは両チームと同様のパートナーシップを継続し、さらなる高みを目指します。また、F1参戦4年目を迎える角田裕毅（つのだゆうき）選手の活動も引き続き支援していきます。

国内レースでは、SUPER GTシリーズ^{※7} GT500クラスで、CIVIC TYPE Rをベースとした「CIVIC TYPE R-GT（シビック タイプアール ジーティー）」の新投入と才能あふれる若手ドライバーの起用により2020年以来となるタイトルの奪還を目指します。

また、昨年FIAフォーミュラ・ツー選手権（F2）で好成績を収めたHondaの育成ドライバー岩佐歩夢（いわさあゆむ）選手が、F1を視野に入れたステップアップとして全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下、SF）へ参戦します。Hondaはこれを支援するとともに、日本のSFを、F1をはじめとする世界トップクラスのフォーミュラレースへ通じるカテゴリーと位置付け、SUPER GTシリーズと同様に積極的な若手ドライバーの起用と盛り上げを図っていきます。

北米においては、Hondaのレース活動を担ってきたHonda Performance Development（ホンダ・パフォーマンス・デベロップメント）が、2024年1月よりHonda Racing Corporation USA（ホンダ・レーシング・コーポレーション・ユーエスエー、以下、HRC-US）に社名を変更し、Hondaの四輪モータースポーツにおける開発力をグローバルで向上させることを目指した組織体制となりました。2024年は、インディカー・シリーズに参戦する5チームに、HRC-USを通じてエンジンを供給します。また、IMSA^{※8}ウェザーテック・スポーツカー選手権にはHRC-USが供給するAcura（アキュラ）ブランドのマシン「ARX-06」2台がHRCロゴを新たにまとい参戦します。今後は日本のHRCとHRC-USが連携し、グローバルでHondaのレース活動をさらに盛り上げていきます。

※3 FIAとは、Fédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

※4 Energy Storage Systemの略。再生された電気エネルギーを保管するためのバッテリーシステム

※5 Red Bull Group（レッドブル・グループ）内でF1向けPUを製造する会社。現行PUに関してESSの製造と運用を担う

※6 Honda F1初参戦の1964年8月に行われたドイツGPから数えて60周年

※7 統括・運営：株式会社GTアソシエーション

※8 IMSAとは、International Motor Sports Association（国際モータースポーツ協会）の略称

■ 参戦体制概要 2024年1月19日発表時点

<以下、敬称略>

《二輪参戦体制概要》

《世界選手権》

◆ FIM ロードレース世界選手権 (MotoGP)

<MotoGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Repsol Honda Team (レプソル・ホンダ・チーム)	RC213V	10	Luca Marini (ルカ・マリニ)	26	イタリア	MotoGP 8位
		36	Joan Mir (ジョアン・ミル)	26	スペイン	MotoGP 22位
CASTROL Honda LCR (カストロール・ホンダ・エルシーアール)		5	Johann Zarco (ヨハン・ザルコ)	33	フランス	MotoGP 5位
IDEMITSU Honda LCR (イデミツ・ホンダ・エルシーアール)		30	中上 貴晶 (ナカガミ・タカアキ)	31	日本 (千葉県)	MotoGP 18位

◆ FIM スーパーバイク世界選手権 (WSBK)

<WSBK>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team HRC (チーム・エイチアールシー)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	7	Iker Lecuona (イケル・レクオーナ)	24	スペイン	WSBK 13位
		97	Xavi Vierge (チャビ・ビエルゲ)	26	スペイン	WSBK 10位
PETRONAS MIE Racing Honda (ペトロナス・エムアイイー・レーシング・ホンダ)		27	Adam Norrodin (アダム・ノロディン)	25	マレーシア	WSSP 25位
		95	Tarran Mackenzie (タラン・マッケンジー)	28	英国	WSSP 18位

<WSSP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
PETRONAS MIE Racing Honda (ペトロナス・エムアイイー・レーシング・ホンダ)	CBR600RR	27	鳥羽 海渡 (トバ・カイト)	23	日本 (福岡県)	Moto3 11位
		89	Khairul Idham Bin Pawi (カイルール・イダム・パウイ)	25	マレーシア	ARRC SS600 2位

◆FIM 世界耐久選手権 (EWC)

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
TATI TEAM BERINGER RACING (タティ・チーム・ ベルリンガー・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	4	Randy Krummenacher (ランディ・クラメナッハー)	33	スイス	EWC 7位
			Hugo Clere (ヒューゴ・クレール)	29	フランス	
			Corentin Perolari (コランティン・ペロラリ)	25	フランス	
F.C.C. TSR Honda France (エフシーシー・ティーエス アール・ホンダ・フランス)		5	Josh Hook (ジョシュ・フック)	31	オースト ラリア	EWC 4位
			Mike Di Meglio (マイク・ディ・メリオ)	36	フランス	
			Alan Techer (アラン・テシェ)	29	フランス	
MANA-AU COMPETITION (マナオ・コンペティション)		53	Marc Miralles (マルク・ミラレス)	26	スペイン	
			Samuel Trueb (サミュエル・トゥループ)	32	スイス	
			TBA			
Wójcik Racing Team (ヴィチック・レーシング・ チーム)		77	Kamil Krzemień (カミル・クシェミエニ)	24	ポーランド	EWC 19位
			Jurand Kuśmierczyk (ジュランド・ クシェミエルチク)	19	ポーランド	
			Artur Wielebski (アルトゥール・ ヴィエレブスキ)	30	ポーランド	
Honda VILTAĪS Racing (ホンダ・ビルタイス・ レーシング)	333	Florian Alt (フロリアン・アルト)	27	ドイツ	EWC 5位	
		Steven Odendaal (スティーブ・ オデンダール)	30	南アフリカ		
		Léandro Mercado (レアンドロ・メルカド)	31	アルゼンチン		

◆FIM モトクロス世界選手権 (MXGP)

<MXGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team HRC (チーム・エイチアールシー)	CRF450R	70	Ruben Fernandez (ルーベン・フェルナンデス)	24	スペイン	MXGP 5位
		243	Tim Gajser (ティム・ガイザー)	27	スロベニア	MXGP 11位
Standing Construct Honda MXGP (スタンディング・ コンストラクト・ホンダ・ エムエックスジーピー)		41	Pauls Jonass (ポールズ・ジョナス)	27	ラトビア	MXGP 19位
		303	Alberto Forato (アルベルト・フォラト)	23	イタリア	MXGP 7位
JM Honda Racing (ジェイエム・ホンダ・レーシング)		32	Brent Van Doninck (ブレント・ヴァン・ドニック)	28	ベルギー	MXGP 22位
Team Ship to Cycle Honda Motoblouz SR (チーム・シップ・トゥー・ サイクル・ホンダ・ モトブロウズ・エスアール)		92	Valentin Guillod (ヴァレンティン・グヨー)	31	スイス	MXGP 9位
		24	Kevin Horgmo (ケビン・ホルモ)	23	ノルウェー	MX2 7位
JWR Honda Racing (ジェイダブリューアール・ ホンダ・レーシング)	161	Alvin Ostlund (アルビン・オストランド)	26	スウェーデン	MXGP 17位	

<MX2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team HRC (チーム・エイチアールシー)	CRF250R	73	Ferruccio Zanchi (フェルッチョ・ザンキ)	17	イタリア	EMX250 4位
JM Honda Racing (ジェイエム・ホンダ・ レーシング)		312	Haaken Osterhagen (ハーケン・ オスターハーゲン)	19	ノルウェー	EMX250 18位
Honda Astra (ホンダ・アストラ)		325	Muhammad Delvintor Alfarizi (ムハンマド・ デルビントール・アルファリジ)	22	インドネシア	MX2 33位
Team Ship to Cycle Honda Motoblouz SR (チーム・シップ・トゥー・サイクル・ ホンダ・モトブロウズ・エスアール)				TBA		
			TBA			

◆FIM トライアル世界選手権シリーズ (TrialGP)

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023 年戦績
Repsol Honda Team (レプソル・ホンダ・チーム)	Montesa COTA 4RT	1	Toni Bou (トニー・ボウ)	37	スペイン	TrialGP/X-Trial チャンピオン
		38	Gabriel Marcelli (ガブリエル・マルセリ)	23	スペイン	TrialGP 3 位

◆FIM 世界ラリーレイド選手権 (ダカールラリー2024)

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023 年戦績
Monster Energy Honda Team (モンスターエナジー・ ホンダ・チーム)	CRF450 RALLY	7	Pablo Quintanilla (パブロ・キンタニラ)	37	チリ	ダカールラリー 総合 4 位
		9	Ricky Brabec (リッキー・ブラベック)	32	米国	ダカールラリー DNF
		10	Skyler Howes (スカイラー・ハウズ)	31	米国	ダカールラリー 総合 3 位
		11	José Ignacio Cornejo (ホセ・イグナシオ・コルネホ)	29	チリ	ダカールラリー 総合 8 位
		42	Adrien Van Beveren (エイドリアン・ヴァン・ベバレン)	33	フランス	ダカールラリー 総合 5 位
		68	Tosha Schareina (トーシャ・シャレイナ)	28	スペイン	ダカールラリー 総合 13 位

《日本》

◆MFJ 全日本ロードレース選手権 (JRR)

<JSB1000>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
SDG Honda Racing (エスディージー・ ホンダレーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	4	名越 哲平 (ナゴエ・テツペイ)	26	日本 (東京都)	JSB1000 4位
TOHO Racing (トーホー・レーシング)		7	清成 龍一 (キヨナリ・リュウイチ)	41	日本 (埼玉県)	JSB1000 7位
Honda Dream RT 桜井ホンダ (ホンダ・ドリーム・ アールディー・サクライホンダ)		9	伊藤 和輝 (イトウ・カズキ)	23	日本 (東京都)	JSB1000 9位
Team ATJ (チーム・エーティージェー)		10	岩田 悟 (イワタ・サトル)	37	日本 (東京都)	JSB1000 10位
MurayamaUnso Team AKIYOSHI (ムラヤマウンソー・ チーム・アキヨシ)		11	秋吉 耕佑 (アキヨシ・コウスケ)	49	日本 (福岡県)	JSB1000 11位
日本郵便 Honda Dream TP (ニッポンユウビン・ホンダ・ ドリーム・ティーピー)		TBA	高橋 巧 (タカハシ・タクミ)	34	日本 (埼玉県)	ST1000 5位
Astemo Honda Dream SI Racing (アステモ・ホンダ・ドリーム・ エスアイ・レーシング)		TBA	野左根 航汰 (ノザネ・コウタ)	28	日本 (千葉県)	Moto2 参戦

<ST1000>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Astemo Honda Dream SI Racing (アステモ・ホンダ・ドリーム・ エスアイ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	1	渡辺 一馬 (ワタナベ・カズマ)	33	日本 (栃木県)	ST1000 チャンピオン
		TBA	作本 輝介 (サクモト・コウスケ)	27	日本 (鹿児島県)	JSB1000 8位
MOTO BUM HONDA (モトバム・ホンダ)		2	荒川 晃大 (アラカワ・コウタ)	21	日本 (東京都)	ST1000 2位
		21	松川 泰宏 (マツカワ・ヤスヒロ)	48	日本 (兵庫県)	ST1000 21位
		TBA	伊藤 元治 (イトウ・モトハル)	24	日本 (埼玉県)	ST600 11位
TOHO Racing (トーホー・レーシング)		3	國峰 啄磨 (クニミネ・タクマ)	25	日本 (群馬県)	ST1000 3位
SDG Team HARC-PRO. (エスディージー・チーム・ ハルク・プロ)		10	國井 勇輝 (クニイ・ユウキ)	20	日本 (東京都)	ST1000 10位

<ST600>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
日本郵便 Honda Dream TP (ニッポンユウビン・ホンダ・ ドリーム・ティーピー)	CBR600RR	5	小山 知良 (コヤマ・トモヨシ)	40	日本 (神奈川県)	ST600 5位
		TBA	大和 颯 (ヤマト・シュウ)	20	日本 (埼玉県)	J-GP3 9位
MOTO BUM HONDA (モトバム・ホンダ)		7	鈴木 光来 (スズキ・コウキ)	23	日本 (神奈川県)	ST600 7位
		21	青田 魁 (アオタ・カイ)	18	日本 (埼玉県)	ST600 21位
		TBA	櫻井 賢一 (サクライ・ケンイチ)	52	日本 (東京都)	ST600 参戦
TN45 with MotoUP Racing Team (ティーエヌフォーティー ファイブ・ウィズ・モトアップ・ レーシング・チーム)		13	藤田 哲弥 (フジタ・テツヤ)	20	日本 (群馬県)	ST600 13位
SDG Team HARC-PRO. (エスディージー・チーム・ ハルク・プロ)		TBA	瀧田 寛太 (ハマダ・カンタ)	19	日本 (茨城県)	Junior GP 参戦

◆MFJ 全日本モトクロス選手権 (JMX)

<IA1>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Honda Dream Racing Bells (ホンダ・ドリーム・ レーシング・ベルズ)	CRF450R	2	大倉 由揮 (オオクラ・ユウキ)	25	日本 (大阪府)	IA1 2位
Honda Dream Racing LG (ホンダ・ドリーム・ レーシング・エルジー)		TBA	横山 遥希 (ヨコヤマ・ハルキ)	25	日本 (埼玉県)	オーストラリア 選手権 (MX2) 10位
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)		6	大塚 豪太 (オオツカ・ゴウタ)	27	日本 (栃木県)	IA1 6位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		9	小方 誠 (オガタ・マコト)	38	日本 (神奈川県)	IA1 9位
		13	池谷 優太 (イケガヤ・ユウタ)	34	日本 (静岡県)	IA1 13位
TEAM KOHSAKA (チーム・コウサカ)		11	道脇 右京 (ミチワキ・ウキョウ)	29	日本 (愛知県)	IA1 11位
		25	道脇 白龍 (ミチワキ・ハクリュウ)	25	日本 (愛知県)	IA1 25位

<IA2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
TKM motor sports いわて (ティーケーエム・ モータースポーツ・イワテ)	CRF250R	2	横澤 拓夢 (ヨコサワ・タクム)	25	日本 (岩手県)	IA2 2位
		6	柳瀬 大河 (ヤナセ・タイガ)	18	日本 (愛知県)	IA2 6位
		27	大塚 貴斗 (オオツカ・タカト)	20	日本 (千葉県)	IA2 27位
		46	佐藤 カ (サトウ・リキ)	20	日本 (秋田県)	IA2 参戦
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		8	鈴木 英喜 (スズムラ・エイキ)	24	日本 (石川県)	IA2 8位
		TBA	高橋 央真 (タカハシ・オウシ)	20	日本 (岡山県)	IA2 参戦
		TBA	藤井 一輝 (フジイ・カズキ)	19	日本 (福岡県)	IA2 参戦
		02	藤井 武 (フジイ・タケル)	17	日本 (愛知県)	IB-OPEN 2位
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)		30	山崎 巧也 (ヤマザキ・タクヤ)	16	日本 (埼玉県)	IA2 30位
		37	根岸 瑞生 (ネギシ・ミズキ)	25	日本 (埼玉県)	IA2 参戦
	TBA	千葉 蓮希 (チバ・ハズキ)	20	日本 (宮城県)	IA2 参戦	
Bells Racing (ベルズ・レーシング)		43	吉田 琉雲 (ヨシダ・ルクモ)	15	日本 (奈良県)	近畿 NA チャンピオン

<レディース (LMX) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)	CRF150R II	1	川井 麻央 (カワイ・マナカ)	21	日本 (埼玉県)	LMX チャンピオン
		6	濱村 いぶき (ハマムラ・イブキ)	17	日本 (福岡県)	LMX 6位
		12	山崎 琴乃 (ヤマザキ・コトノ)	15	日本 (埼玉県)	LMX 12位
Team ITOMO (チーム・イトモ)		3	箕浦 未夢 (ミノウラ・ミュウ)	17	日本 (愛知県)	LMX 3位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		5	瀬尾 柚姫 (セオ・ユズキ)	16	日本 (広島県)	LMX 5位

◆MFJ 全日本トライアル選手権 (JTR)

<IA スーパー (IAS) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
TEAM MITANI Honda (チーム・ミタニ・ホンダ)	RTL301RR	1	小川 友幸 (オガワ・トモユキ)	47	日本 (三重県)	IAS チャンピオン
HRCクラブ MITANI&荘内	RTL301RR	20	浦山 瑞希 (ウラヤマ・ミズキ)	16	日本 (山形県)	IA 3位

<レディース (LTR) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
<プライベート参戦>	COTA4RT 250R	1	山森 あゆ菜 (ヤマモリ・アユナ)	18	日本 (静岡県)	LTR チャンピオン

《アジア》

◆FIM アジアロードレース選手権 (ARRC)

<ASB1000 クラス>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Honda Asia-Dream Racing with Astemo (ホンダ・アジア・ドリーム・ レーシング・ウィズ・アステモ)	CBR1000RR-R FIREBLADE	21	Md Zaqhwani Bin Zaidi (モハメド・ザクワン・ ビン・ザイディ)	28	マレーシア	ASB1000 2位
		23	Andi Farid Izdihar (アンディ・ファリド・ イズディハール)	26	インドネシア	ASB1000 3位
		41	Nakaran Atiratphuvapat (ナカリン・ アティラプワパ)	28	タイ	ARRC SS600 2位
SDG Team HARC-PRO Honda Ph. (エスディージー・チーム・ ハルク・プロ・ホンダ・フィリピン)		92	國井 勇輝 (クニイ・ユウキ)	20	日本 (東京都)	JRR ST1000 10位

《北米》

◆AMA スーパークロス選手権

<450SX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team Honda HRC (チーム・ホンダ・ エイチアールシー)	CRF450R	18	Jett Lawrence (ジェット・ローレンス)	20	オースト ラリア	250SX West チャンピオン
		96	Hunter Lawrence (ハンター・ローレンス)	24	オースト ラリア	250SX East チャンピオン

<250SX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team Honda HRC (チーム・ホンダ・ エイチアールシー)	CRF250R	30	下田 丈 (シモダ・ジョウ)	21	日本 (三重県)	250SX East 13位
		48	Chance Hymas (チャンス・ハイマス)	18	米国	250SX East 16位

◆AMA プロモトクロス選手権

<450MX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team Honda HRC (チーム・ホンダ・ エイチアールシー)	CRF450R	18	Jett Lawrence (ジェット・ローレンス)	20	オースト ラリア	450MX チャンピオン
		96	Hunter Lawrence (ハンター・ローレンス)	24	オースト ラリア	250MX チャンピオン

<250MX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Team Honda HRC (チーム・ホンダ・ エイチアールシー)	CRF250R	30	下田 丈 (シモダ・ジョウ)	21	日本 (三重県)	250MX 3位
		48	Chance Hymas (チャンス・ハイマス)	18	米国	250MX 18位

《四輪参戦体制概要》

《日本》

◆全日本スーパーフォーミュラ選手権（SF）

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	16	野尻 智紀 (ノジリ・トモキ)	34	日本 (茨城県)	SF 3位
	15	岩佐 歩夢 (イワサ・アユム)	22	日本 (大阪府)	FIA-F2 4位
DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	5	牧野 任祐 (マキノ・タダスケ)	26	日本 (大阪府)	SF 6位
	6	太田 格之進 (オオタ・カクノシン)	24	日本 (京都府)	SF 7位
PONOS NAKAJIMA RACING (ポノス・ナカジマレーシング)	64	山本 尚貴 (ヤマモト・ナオキ)	35	日本 (栃木県)	SF 13位
	65	佐藤 蓮 (サトウ・レン)	22	日本 (神奈川県)	SF 10位
TGM Grand Prix (ティージーエム グランプリ)	53	Juju (ジュジュ)	17	日本 (東京都)	Zinox F2000 Formula Trophy championship チャンピオン
	55	TBA			
ThreeBond Racing (スリーボンド・レーシング)	12	三宅 淳詞 (ミヤケ・アツシ)	24	日本 (三重県)	SUPER GT GT300 19位
B-Max Racing Team (ビーマックス・レーシング・チーム)	50	木村 偉織 (キムラ・イオリ)	24	日本 (東京都)	SFL チャンピオン

◆SUPER GT <GT500 クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
ARTA (エーアールティーエー)	8	野尻 智紀 (ノジリ・トモキ)	34	日本 (茨城県)	GT500 8位
		松下 信治 (マツシタ・ノブハル)	30	日本 (埼玉県)	GT500 6位
	16	大津 弘樹 (オオツ・ヒロキ)	29	日本 (埼玉県)	GT500 4位
		佐藤 蓮 (サトウ・レン)	22	日本 (神奈川県)	SF 10位
Astemo REAL RACING (アステモ・リアル・レーシング)	17	塚越 広大 (ツカコシ・コウダイ)	37	日本 (栃木県)	GT500 6位
		太田 格之進 (オオタ・カクノシン)	24	日本 (京都府)	GT500 14位
STANLEY TEAM KUNIMITSU (スタンレー チームクニミツ)	100	山本 尚貴 (ヤマモト・ナオキ)	35	日本 (栃木県)	GT500 11位
		牧野 任祐 (マキノ・タダスケ)	26	日本 (大阪府)	GT500 10位
Modulo Nakajima Racing (モデュール・ナカジマレーシング)	64	伊沢 拓也 (イザワ・タクヤ)	39	日本 (東京都)	GT500 14位
		大草 りき (オオクサ・リキ)	24	日本 (神奈川県)	GT300 17位

◆SUPER GT <GT300 クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
TEAM UPGARAGE (チーム・アップガレージ)	18	小林 崇志 (コバヤシ・タカシ)	36	日本 (広島県)	GT300 5位
		小出 峻 (コイデ・シュン)	24	日本 (大阪府)	GT300 5位 SFL 3位

◆スーパー耐久シリーズ <ST-Q クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
Team HRC	271	大津 弘樹 (オオツ・ヒロキ)	29	日本 (埼玉県)	SUPER GT GT500 4位
		TBA			
		TBA			

《北米》

◆インディカー・シリーズ

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
Meyer Shank Racing (マイヤー・シャंक・レーシング)	66	Tom Blomqvist (トム・ブロンクビスト)	30	英国	インディカー・シリーズ 34位
	60	Felix Rosenqvist (フェリックス・ローゼンクヴィスト)	32	スウェーデン	インディカー・シリーズ 12位
	06	Hélio Castroneves (エリオ・カストロネベス) ※INDY500のみ	48	ブラジル	インディカー・シリーズ 18位
Chip Ganassi Racing (チップ・ガナッシ・レーシング)	9	Scott Dixon (スコット・ディクソン)	43	ニュージーランド	インディカー・シリーズ 2位
	10	Alex Palou (アレックス・パロウ)	26	スペイン	インディカー・シリーズ チャンピオン
	8	Linus Lundqvist (リヌス・ルンドクヴィスト)	24	スウェーデン	インディカー・シリーズ 31位
	4	Kyffin Simpson (キフィン・シンプソン)	19	バルバドス	ELMS (LMP2) チャンピオン
	11	Marcus Armstrong (マーカス・アームストロング)	23	ニュージーランド	インディカー・シリーズ 20位
Rahal Letterman Lanigan Racing (レイホール・レターマン・ラニガン・レーシング)	15	Graham Rahal (グレアム・レイホール)	35	米国	インディカー・シリーズ 15位
	30	Pietro Fittipaldi (ピエトロ・フィッティパルディ)	27	ブラジル	WEC (LMP2) 6位
	45	Christian Lundgaard (クリスチャン・ルンガー)	22	デンマーク	インディカー・シリーズ 8位
Dale Coyne Racing (デイル・コイン・レーシング)	TBA	TBA	—	—	—
	TBA	TBA	—	—	—
Andretti Global (アンドレッティ・グローバル)	28	Marcus Ericsson (マーカス・エリクソン)	33	スウェーデン	インディカー・シリーズ 6位
	27	Kyle Kirkwood (カイル・カークウッド)	25	米国	インディカー・シリーズ 11位
	26	Colton Herta (コルトン・ハータ)	23	米国	インディカー・シリーズ 10位
TBA	TBA	佐藤 琢磨 (サトウ・タクマ)	46	日本 (東京都)	インディカー・シリーズ 29位

◆IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
Wayne Taylor Racing with Andretti (ウェイン・テイラー・レーシング・ ウィズ・アンドレッティ)	10	Ricky Taylor (リッキー・テイラー)	34	米国	IMSA GTP 2位
		Filipe Albuquerque (フィリペ・アルバカーキ)	38	ポルトガル	IMSA GTP 2位
	40	Louis Delétraz (レイ・デレトラズ)	26	スイス	WEC (LMP2) チャンピオン
		Jordan Taylor (ジョーダン・テイラー)	32	米国	IMSA GTD Pro 3位

《二輪ライダー・四輪ドライバー育成》

「モータースポーツで世界に通用する選手を育成する」ことを目的として、1992年に二輪の「鈴鹿サーキット・レーシングスクール ジュニア」を設立。1993年に「鈴鹿サーキット・レーシングスクール カート (SRS-Kart)」、1995年には「鈴鹿サーキット・レーシングスクール フォーミュラ (SRS-Formula)」を開校し、二輪・四輪ともに世界のトップカテゴリーで活躍できるライダー・ドライバーの育成に取り組んできました。その結果、これまでに数多くの卒業生が国内外の二輪・四輪それぞれのカテゴリーで活躍しています。また、2022年より名称を「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS)」に変更し、トップライダー、トップドライバーを講師に迎えて運営しています。

トップカテゴリーを目指した選手育成システムとして、二輪においては、2024年も引き続きMotoGPのMoto2・Moto3クラスに参戦するHonda Team Asia (ホンダ・チーム・アジア)の活動を継続するとともに、若手育成のプログラムとしてIDEMITSU Asia Talent Cup (イデミツ・アジア・タレント・カップ)を活用し、世界で活躍できるライダーのさらなる発掘・育成に取り組めます。

四輪においては、ドライバー育成プログラム「ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト (HFDP)」を展開し、欧州のジュニアフォーミュラカテゴリーや日本のFIA-F4、全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権などへの挑戦の場を提供し、選手の成長とステップアップのための環境を整えています。

◆FIM ロードレース世界選手権 (MotoGP)

<Moto2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
IDEMITSU Honda Team Asia (イデミツ・ホンダ・ チーム・アジア)	KALEX	35	Somkiat Chantra (ソムキアット・チャントラ)	25	タイ	Moto2 6位
		34	Mario Aji (マリオ・アジ)	19	インド ネシア	Moto3 31位

MT Helmets -MSI (エムティーヘルメット・ エムエスアイ)	Boscoscuro	79	小椋 藍 (オグラ・アイ)	22	日本 (埼玉県)	Moto2 9位
--	------------	----	------------------	----	-------------	-------------

<Moto3>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2023年戦績
Honda Team Asia (ホンダ・チーム・アジア)	NSF250RW	5	Tatchakorn Buasri (タットチャコーン・ ブーシュリ)	23	タイ	Junior GP 11位
		72	古里 太陽 (フルサト・タイヨウ)	18	日本 (鹿児島 県)	Moto3 16位

◆フランス F4 選手権

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
—	TBA	加藤 大翔 (カトウ・タイト)	16	日本 (三重県)	HRS Formula スカラシップ獲得 (首席)

◆全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 (SFL)

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
B-Max Racing Team (ビーマックス・レーシング チーム)	50	小出 峻 (コイデ・シュン)	24	日本 (大阪府)	SFL 3位
TODA RACING (トダ・レーシング)	2	荒尾 創大 (アラオ・ソウタ)	18	日本 (東京都)	英国 GB3 選手権 17位

◆FIA-F4 選手権 (日本)

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2023年戦績
HFDP with B-Max Racing Team (エイチエフディーピー ウィズ ビーマックス・レーシング チーム)	TBA	野村 勇斗 (ノムラ・ユウト)	18	日本 (愛知県)	FIA-F4 4位
	TBA	洞地 遼大 (ホラチ・リョウタ)	17	日本 (愛知県)	HRS Formula スカラシップ獲得 (次席)

■モータースポーツ普及活動

Honda は、モータースポーツの普及にも積極的に取り組んでいます。モータースポーツ初心者でも気軽に楽しめるイベントを開催するなど、幅広い層の皆様にモータースポーツの魅力を伝えることを目的としたさまざまな活動を行っています。

<株式会社ホンダ・レーシング（HRC）ワンメイクレースシリーズ>

HRC によるワンメイクレースは、モータースポーツを楽しむカテゴリーと将来の MotoGP ライダー育成を目的としたカテゴリーに分かれ、日本全国約 30 か所のサーキットで開催されています。

市販車両を使用した「HRC GROM Cup」、「CBR250R Dream Cup」、「CBR250RR Dream Cup」に加え、HRC の市販レーサーを使用したミニバイククラスの「NSF100 HRC トロフィー」や、将来の MotoGP ライダーを育成するための「HRC NSF250R Challenge」も開催しています。

これらの HRC ワンメイクレースシリーズは、全国各地のサーキットで開催され、一定の条件を満たした参加者を対象に全国大会の実施や、育成クラスへのステップアップ支援制度など、参加者がレースを楽しんだり、夢を実現したりするプログラムです。

<Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024>

Honda は、創造力と自由な発想、そして技術を結集した手作りのマシンを使って、1L のガソリンで何 km 走行できるかを競う「Honda エコ マイレージ チャレンジ」を 1981 年から開催し、初回大会以来のべ約 1 万 5 千チーム以上が参加しています。2024 年も国内 3 か所での地区大会と、全国大会を予定しています。

Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024 国内開催スケジュール

開催日程	大会名	開催会場
6月8日（土）	Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024 第37回 鈴鹿大会	鈴鹿サーキット 東コース （三重県）
6月22日（土）	Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024 第15回 もてぎ大会	モビリティリゾートもてぎ 西コース （栃木県）
8月4日（日）	Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024 第39回 九州大会	HSR九州 サーキットコース （熊本県）
10月12日（土）：練習走行 10月13日（日）：決勝	本田宗一郎杯 Honda エコ マイレージ チャレンジ 2024 第43回 全国大会	モビリティリゾートもてぎ スーパースピードウェイ （栃木県）